

2004年度東北大学法科大学院入学試験

出題趣旨

科目名：民法（50分）

本問は、不動産物権変動および法律行為に関する基礎的な理解を問う問題である。小問(1)の解答にあたっては、詐欺を理由とする法律行為の取消（民法96条）とその場合の第三者の保護に関して、第三者の出現が取消の前か後かによって法律構成がそれぞれどのようなものになるかを理解している必要がある。小問(2)においては、虚偽表示を理由とする法律行為の無効とその場合の第三者の保護に関する民法94条の理解が問われる。小問(3)は、不動産の二重譲渡の法的規律を問うものであり、解答には、「看板」が法的にどのような意味を持つかという点との関連も含めて、民法177条の正確な理解が求められる。